

ユーモアスピーチ船橋

2017 (H29) 年 3 月 9 発行

ジョークは暮らしの調味料・ユーモアは人生のかくし味

131 回船橋ユーモアスピーチの会

2017 年 3 月 9 (木)

3 分間スピーチ

テーマ「[耳寄りな話] [無駄] [自由題]

ロングスピーチ

「アルビオンの散歩道」をして

飯田さん

1 月：今和泉、飯田、飯野、入江、稲葉、大塚、工藤、中富、はらだま、松永、松本、山岸、山本君、辻内、植野、町田、原田、長嶋、ゲスト 2 名

主催：NPOシニア大楽

ユーモアスピーチ共和国・船橋支部

支部長：長嶋秀治 043-261-5832

発行者：長嶋秀治

編集&事務局：原田公平

274-0812 船橋市三咲 5-20-36

080-2192-2871

chibaharadakohei@yahoo.co.jp

参加費 500 円 (入会金 1000 円)

開催日と場所

毎月第②木曜日 14:00~16:30

会場「ニッセイ・ライフプラザ船橋」

船橋市湊町 2-1-1 日生船橋ビル 1F

ロングスピーチ 「地球一周の船旅」をして
「この船旅の、実は…を集めてみました」

スピーカー はらだまさん

その①実は、104 日間のうち 9 月 5 日~10 月 23 日の 58 日間、部屋の誰かが風邪をひいていた。最初右側上段ベッドの 63 才がインドを出てから引きはじめ、続いて左側上段 71 才にうつり、右下下段の私もずっと我慢していたがスペインで鼻水だらだら状態で NY まで続く。最後には左下 65 才も寝込んで、4 人そろって寝たこともあった。

その②実は、PB には、学生や社会人、中高年のほかに 5 歳ぐらいまでの未就学幼児が 20 名ほど乗っていた。保育士が 3 名乗っていて、船内の保育室で面倒見たり、親と一緒にツアーについて行ったりしてた。若い乗客を取り込む狙いがあるのか・・・若いスタッフの子供もいたりして・・・

その③実は、この船は建造から 35 年、あちこちで水漏れが多発。ある女性の二人部屋「朝起きたらベッドのマットの下まで水浸し、スリッパや靴がプカプカ浮いて、ベッドの下にスーツケースを置いてたので、着るものもお土産も濡れちゃって洗濯とかしてくれたけど乾かすのに 1 週間ぐらいかかっちゃってもうさんざんよ」「俺は部屋を換えてもらったよ」そういえばうちの部屋もシャワーのヘッドが壊れ、交換したっけ・・・とにかく見えないところはボロボロ・・・

その④実は、相部屋はみんな仲がいいとは限らない。とにかく我儘とか自分勝手な人が多いんだって、女の二人部屋だったら最悪、口も利かないし、一人はノイローゼになっちゃうし大変、男の 4 人部屋でアル中の年寄りがいて、3 人が事務所に掛け合っただけで船からおろしたそうで、やっと静かに寝られると言った。

その⑤実は、スエズ運河の手前を航行中、夜中の 1 時ごろ、寄港地でもないのにサウジアラビアの港に接岸。急病人が搬送された。脳溢血で倒れたらしく、噂によると助からなかった



らしい。60代の男。

その⑥実は、船内で恋が芽生え、寄港地で船に帰らずホテルに宿泊したカップルが十数組。わしの狙った60代もその中にいた？ちきしょう！！

その⑦実は、乗客の6割以上がリピーター、4, 5回から7, 8回はざら、16回、19回までいた。中で最高は24回の孤独な金満老婆、姥捨て山か？

その⑧実は、ポスター貼りや配送仕分け作業のアルバイトを1年2年とやって旅費の全額稼いで乗り込む若者が結構いた。休暇を取って、取れなかったら退職してまで乗る社会人も。とにかく乗れば何かをつかむと私も思う。降りてからスタッフになるという若者もいて、この船は若者の結束とフットワークなしでは機能しないと思う。シニアもバイトはでき、全国7, 8か所のボランティアセンターで、せっせと旅費稼ぎに通ってる。だけどシニアは半額までしかもらえない。私も去年5月6月ポスター700枚張って19万振り込まれた。それを英語とOPツアーに充てた。

その⑨実は、寄港地でのOPツアーが高すぎる！ 私は地元との交流ツアーが多かったので、ほとんどが2万以下。有名観光地やホテル1泊ツアーになると3万～5万、寄港地から飛行機で出かけ観光し5, 6泊もして船に合流するとなると20～30万。いいホテルもあったそうだが、とにかく高すぎるとブーイング。

その⑩実は、PBに乗ってやせた人の方が多いと思う。居酒屋に2つのバーは有料だけど3つのレストランは原則食べ放題。昼寝付。魚が多く肉少なめ、脂っこいものも少なく、とにかく野菜と果物がたくさん、キャベツなんかは飽きるほど食べた。病気になるようカロリー抑え目らしい、朝から太極拳、ラジオ体操、ダンスに卓球、とにかく歩いてる人が大勢、ジムで走ってる人もいて、健康志向の人が目立った。

その⑪実は、現役時代の肩書、大学教授に退職教師、外国勤務の商社マン、自分の持っている知識をひけらかす御仁、はじめのうちは頼りにされるが次第に飽きられ、遠ざけられるという。初回から2, 3回までで、5, 6回目ともなるとその辺わきまえて聞かれたことしか話さなくなる。とにかく偉そうなお人はどこでも嫌われる。

おまけ：実は、小ばなしサロンが近づくと旅行地をテーマにしたなぞかけ、小ばなしづくりで大忙し。いつも同じネタばかりでは飽きられて、目先を変えないと。で、出来たなぞかけ、小ばなしを二つ三つ。

おまけ：実は、小ばなしサロンが近づくと旅行地をテーマにしたなぞかけ、小ばなしづくりで大忙し。いつも同じネタばかりでは飽きられて、目先を変えないと。で、出来たなぞかけ、小ばなしを二つ三つ。

「地球一周の旅」とかけて、「刺身の盛り合わせ」と説く、

その心は「やっぱり船がいいでしょう」

「イタリアの日曜日」とかけて、「おばあさん」と説く

その心は「ろーばの休日」

「ジャマイカ」とかけて、「気候が温暖なので適当な国民」と説く、

その心は「ジャー、まあ、いいか」

A「ギリシャの島に行ったんだ」 B「ほう、どんな島だった？」

A「港にカモメが3羽、ロバが2頭いてな」 B「ほう、サントリー、二島か」

おあとがよろしいようで・・・

3分間スピーチ 「あれ！ぼけたかな？」「飛躍」「自由題」

町田雅和：「飛躍」名前を付けると飛躍できると気が付いた。京成大久保の小学生向けマジック教室も、はらだまさんに「マッシーのマジック教室」という愛称を付けてもらったお蔭で1年以上続けられた。そこで今年のチャレンジ目標に名前を付けてみた。落語のまくら紹介とその演じ方の小冊子→「笑える膝枕（ひざまくら）」、地元の仲間との社交ダンス講習会→「踊るカラオケ御殿」、同じく雨の日の卓球会→「T T A P」Table Tennis Amenohi Plaza。色々なものに名前（愛称）を付けて飛躍したい。

山田正國：(1月) 段々ボケが進行する。昨暮れの例会週を間違い、気が付いた時には既に期日が過ぎた後、今年はこの様なミスをしないうに。これが今年の抱負なんて、我ながら情けない。私より先に話された他の会員さんも同じミスをされたらしいが、手帳やカレンダーに書き込むが これらも見なければ同じことになる。結局努力目標と云うことになる。

(2月) ボケたのか、身体が反応しないのか、ここに来るとき自宅から駅までの道、前方に同年配の高齢者がよたよた歩いている、ああはなりたくないな。よし追い抜いてやろう。小生すたすた歩みを速めたしかし一向に差が縮まらない。小生のすたすたと彼のよたよたと同速度だったのか、また小生もよたよただったのか、愕然とし、しばし立ち止まった。もちろん追い抜けなかった。

山岸哲男：「飛躍」 NPO法人「シニア大楽」が主催する「第3回シニア社会人落語会」が、4月21日の金曜日に、文京シビックホールで開催されます。私は、昨年に続いて、今年も出場させて頂くことになりました。昨年は80歳の私が最年長者でしたが、今年は10人の出場者のうち80歳代が3人で、81歳の私は3人の中の最年少者になりました。活動的なシニアが増えているのです。昨年の落語会で、400人近いお客様の前で高座を勤め、大変貴重な初体験をいたしました。計り知れない大きな影響を受けたのです。シニア大楽から自分の動画を贈られたことで、自分の落語をユーチューブにアップすることを覚えました。自分の全ての落語をネットで観てチェックすることで、私は大きく「飛躍」することができました。さて今回、私の演目は「紙入れ」と言う噺で「間男」がテーマです。古来、日本では色道、すなわち「色の道」では、「人の妻を盗む」間男は最高位にランクされてきました。生来、意気地無しで、甲斐性無しの私には、実際の間男には全く縁がありませんが、せめて落語で間男を経験することで、今年は大きな「飛躍」を遂げたいと思っています。

植野晏生：(只今、喪中です) 女房の母親が亡くなりました。満96歳です。49日は明けたので、今月初め京都へ納骨に行き参りました。思えば16年前に義父が亡くなって独り暮らしを始めた義母を、13年間毎月2,3度大阪に見回り、3年前にベッドから落ちて骨折し車いす生活を始めてからは船橋に呼び寄せ週4日以上介護に通う生活が続きしました。義理の兄が子や孫と続く墓守の便を図るために広島の前祖の墓を墓仕舞いして京都の妙心寺に移すと間もなく死にましたので、妻に一族を纏める頭領役が回ってきて色々な行事を仕切っておりました。我々夫婦も16年間旅行を控えているうちに、歳をとって海外旅行に行く気も失せました。これからは女房の慰安のため、国内旅行に付き合おうと思っています。

入江清之：私は尿酸値が高いので、医師から1日、2ℓ以上の水を飲むよう忠告されているが、夏場は良いが、冬場は厳しく数値が悪くなると医師からイエローカードが出る。人間の体は体重の半分は水、筋肉は75%、細胞は70%~85%、骨の半分は水だから、健康維持には毎日最低1ℓ以上の水分補給が必要とのこと。但し、ビール、お茶、コーヒー等は利尿作用で排泄されるので、水分補給にはならない。その水ですが、我々が海外でうっかり現地の水を口にするとゲエリークパーになったりするが、その点日本の水道水は安全なのに、何故か日本人はミネラルウォーター、ポカリスエット、水素水等を飲んでいるが、中にはまがい物も混在しているようで、そんなものを飲まされている消費者は黙って水に流せない話である。

飯野 望：『あれっ！ぼけちゃったかな？』芸能人や、あれ、その意味が時々出てきません。先日もあれ！お願いと言われ、いつものパンのミミを20円で買って帰ると、今日は燃えなおゴミの日なのに！と叱られました。郵便局でも忘れて立ち戻ると、忘れ物は右手の中がありました。

中富康夫：1月23日は1無(禁煙)、2少(小食、少酒)、3多(多動、多休、多接)の日として、生活習慣病予防のための啓発キャンペーンがスタートしたとの記事をネットで見ました。1月23日はたまたま弟の誕生日であり、よい機会だと思ってこの記事のコピーを弟に送って禁煙を勧めた。この頃はネットで見ると記事には真偽が判断できないものが多いので用心しなければと思っている。

長嶋秀治：(飛躍) 4日に立春を迎えた。と言っても名のみ春で寒い日が続いている。先日ウォーキングで白梅の香りに心が和んだ。一方憂鬱な時期でもある。杉花子(花粉)が忍び寄る。相手から見れば飛躍の時期である。それでも山登りに行く。飛んで火にいる夏の虫。帰りは決まって鼻グシュグシュ、目ショボショボ。はやく特効薬ができてほしい。

工藤文夫：ランキングが変化しています このごろのタイミングで昨年（2016）のランキングが発表になります。例えば、浜松市が 3 年連続で、「餃子」の消費量が NO1 という内容。都道府県の統計で「ひょう柄」NO1 がおぼちゃんの大阪府から埼玉県に変わったとのこと。2 位が大阪府で 3 位がなんと岐阜県。要因は「都会への憧れ?!」との分析でした。又「納豆」の消費 NO1 は水戸が中心の茨城県が 5 位に転落し、NO1 は、なんと群馬県。2 位は宮城県。要因は米の普及から、学校給食に納豆が採用されたことらしい。（因みに生産量は茨城県が NO1）商品によって、これはここだと言う、先入観がありますが、世の中、少しずつ変化しているようです。

松永成三郎：「ぼける」ということ 統計によると、認知症の年齢別発症率は 60 歳代後半で 1.5%、70 歳代前半で 3.6%、同代後半後期高齢者では 7.1%、80 歳代前半では 14.6%、後半で 27.3%ということで、ちょうど倍々ゲームのように増加してきます。「まだ俺は大丈夫」と云う方はこの数字を如何に思われますか。深刻な問題は高齢者の自動車運転免許のことで。道路交通法には現在でも「痴呆」という字句を使って、認知症は免許の取得ができない旨明文化されています。但しこの認知症の判定はかなり難しく、現実には更新時に認知症が疑われてもそれを正確に診断する医師が少ないため社会的問題となっています。

翻って日常「ボケ」という言葉は割と簡単に交わされています。脳卒中や脳外傷などで急激に認知障害を起こす場合は別として、アルツハイマー型にしても脳血管性型認知症にしても比較的ゆっくり進行するので、初期には判定が難しいと言われています。いずれにしても「物忘れ」に始まる加齢現象は多かれ少なかれ誰にも起こりうることなので、ある程度上手

にボケることも必要ではないかと考えます。漫才にボケとツッコミがあるように夫婦でも両方ツッコミで終始したら家庭内暴力や家庭内別居、ひいては離婚などというのっぴきならない状態まで引き起こしかねません。老人になったら上手く「ボケた」ふりをするのも時には必要なのではないかと愚考するものです。



原田公平：ぼけたかなあ、3 連発 パスポートの更新に行って引換券をもらった。期日になり取りに行こうとするも置いたところに引換券がない。部屋中、大探しをするも出てこない。最初の場所を念入りにさがしたら出てきた。袋の色の記憶違いだった。ピースボート、今度はハワイに寄る。アメリカ入国のビザは自分でインターネットから取る。以前は一発でとれた。今回は様子が違う、入力して送信して気がついた。14 ドルですむのが、7000 円かかってしまった。オレオレ詐欺の一種みたいなものだった。デジタル録音機はボクにとって必需品、ラジオの深夜便「日本の歌・心の歌」を自動録音して仕事の行き帰りに楽しむ。一方、民謡の稽古はプロの歌を録音してあり、自分の稽古も録音、後で聞く。民謡を覚えるには、ボクの場合は 1000 回以上聞き、3000 千回以上唄わないと覚えられない。2 月の初めの民謡の稽古の後、録音機がない。会場に戻り探したがなく、届け出もないという。録音機がないと非常に困る。翌日、思い切って同じタイプを買った。18000 円だった。1 か月後、いつも身に着けているウエストポーチを無意識に開けたら、録音機がでてきた。ボクのウエストポーチは 3 個のポケットがあり、2 か所しか使っていなかった。あの時、他のことをしながら無意識に一番内側の一段低い箇所のポケットに仕舞ったのだ。1 年も使っていて、気が付かなかった。またすぐなくなるから予備になると、自分を慰めるしか仕方なかった。

4 月の船橋ユーモアスピーチの会

4 月 13 日

テーマ「応援」「カラオケ」

ロングスピーチ

「健康に関する常識・非常識」

松永成三郎さん